

公開講座・乃木坂スクール
「前例を超える・前例を創る
～専門職として、ジャーナリストとして、そして、つらい経験から」

サリドマイド被害児が 薬剤疫学の専門家になって 薬害を防ぐ

佐藤 嗣道

東京理科大学薬学部・公益財団法人いしずえ

本日お話しする内容

- サリドマイド被害児として
- 障害をもって生きる
- 薬剤疫学の専門家になって:コロナワクチンによる薬害が起きている？

サリドマイド被害児として



- ・ 1962年10月 札幌で生まれる。
- ・ 1962年1月か2月、母親が、胃の調子が悪く、近所の薬局で胃腸薬「プロバンM」(サリドマイド配合剤)を薦められ、購入して服用
 - そのとき、母親は妊娠に気づく前だった。
 - 「後から思い返せば、つわりの初期だったかもしれない」。

サリドマイド薬害事件(1957-62)

サリドマイドは1950年代末から60年代初めに、世界の40カ国以上で販売された鎮静・催眠薬です。

この薬を妊娠初期に服用すると、胎児の手/足/耳/内臓などに奇形を起こします(この副作用を催奇形性といいます)。

サリドマイドの催奇形性により、世界で数千人～1万人、日本で約千人の胎児が被害にあったと推定されています(死産を含む)。日本では生存した309人の被害者が認定されています。

サリドマイド被害者の数

	出生	死産を含む	流産を含む
ドイツ	3,000		
英国	350		
日本	309	約1000	
スウェーデン	120		
カナダ	120		
ブラジル	100		
イタリア	90		
台湾	30		
...			
合計	約5000人	約10000人	約20万人？

サリドマイドの催奇形性

- 過敏期

- 妊娠初期3ヶ月間
 - ・ とくに最終月経後およそ30～60日
- 1回1錠の服用でも障害が起こる

- 症状(サリドマイド胎芽病)

- 四肢の障害

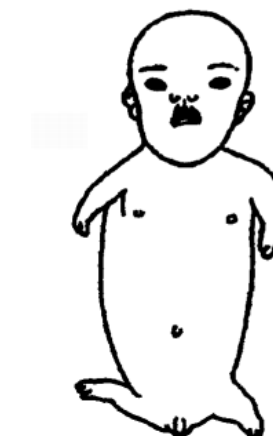
- ・ 両上肢がない
- ・ フォコモリア(肩から手が出ている)
- ・ 上肢が短い/橈骨がない
- ・ 指の本数が足りない/親指が小さい

- 耳と顔面の障害

- ・ 難聴、耳たぶがない/小さい
- ・ 顔面神経の不全麻痺
- ・ ワニの涙症候群(摂食時に涙が出る)
- ・ デュアン症候群(眼球の運動制限)

- 内臓の障害

- ・ 心臓疾患、消化器の閉塞・狭窄、ヘルニア、胆嚢や虫垂の欠損など

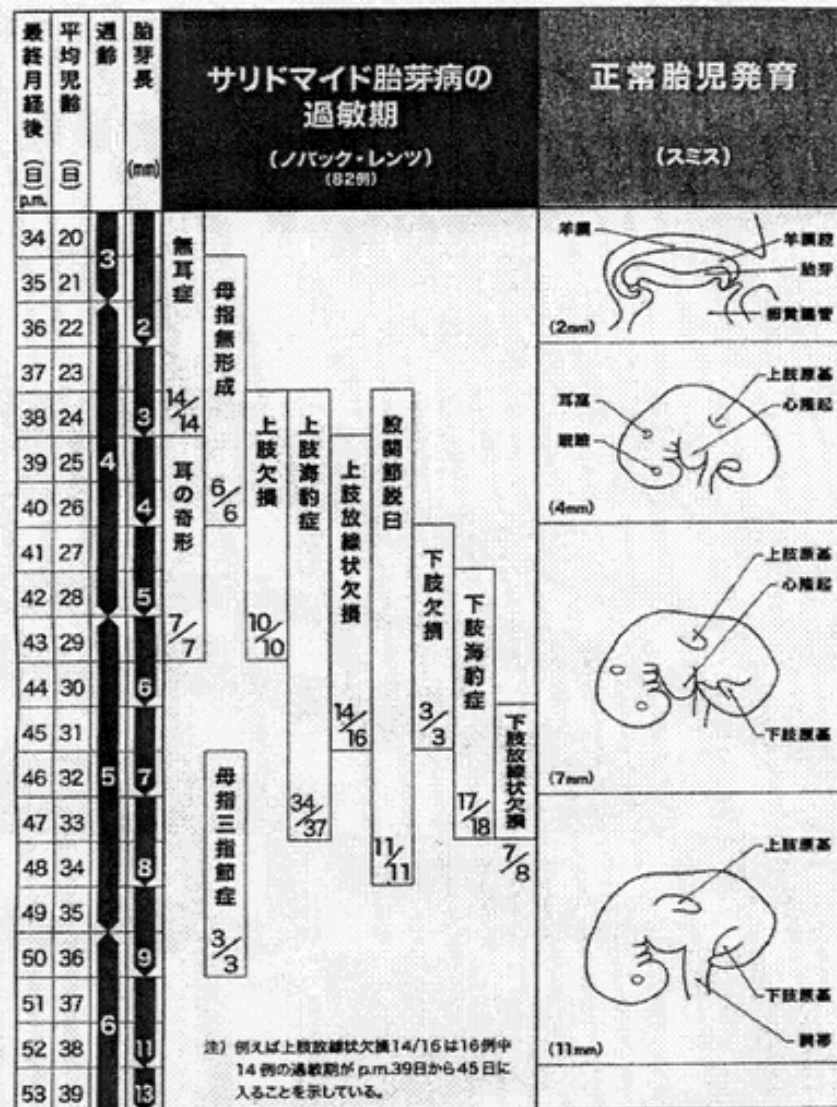


フォコモリアの例



耳の障害の例

図の出典:「多発性骨髄腫に対するサリドマイドの適正使用ガイドライン」



参考書：1. 木田盈四郎：先天異常の医学、中公新書
2. 木田盈四郎ら：先天奇形症候群、医学書院、1996

2021/6/3

木田盈四郎「サリドマイドと奇形」138頁図、増山元三郎編『サリドマイドー科学者の証言ー』東京大学出版会（1971年）、転載許可済。

サリドマイドの発売

- 1957年、西独グリュネンタール社が発売。
 - 商品名「コンテルガン」(鎮静催眠剤)。
 - シネマ・ジュースと呼ばれたりした。
 - つわり止めにも使用された。
 - 副作用として多発性神経炎が起こることが報告された。
 - 末梢神経が障害され、手や足のしびれ、などの症状が起こる。
- 以後、世界約40カ国以上で販売。

日本での販売

- 1957年、大日本製薬（現在：大日本住友製薬）が独自に製造し、厚生省に許可申請。
 - 不十分な動物実験。日本での臨床試験はなし。
- 厚生省の審査と承認
 - 簡単な審査
 - 包括建議：西ドイツで既に使用との誤った判断
 - 審査時間わずか1時間半
- 1958年、睡眠薬「イソミン」発売。
- 1960年、胃腸薬「プロバンM」に配合。
- 医療用薬のほか、大衆薬として街の薬局でも販売

1970.11.5 朝日

2021/6/3



10

宣伝と販売の拡大

- 「完全無毒」、「妊婦にも安心」
- 胃腸薬「プロバンM」に配合
 - ・ つわり止めにも使用されるようになり、被害が拡大した。

N-Phthalyl-L-glutamic acid imide

イソミン錠は1錠中、N-フタル・グルタミン酸イミド25mgを含有する錠剤で、イソミン数は1g中、本化合物0.1gを含有する100倍である。

作用・特徴

1. イソミンはバルビツール系に属さない。

催眠剤 麻酔性のない クセにならない安全な...

(昭和35年10月10日)

各種の催眠剤を別々のネズミに与えた場合、ほとんどのネズミは反射機軸をそくねていたため回転する車にのせた時、下に落ちたままです。しかしイソミンを与えたネズミは反射機軸をそくねていないので、車を与えなかったネズミ同様いつまでも回転車から落ちません。これはイソミンが安全な薬である理由の一つです。

イソミン錠

12錠 130円・30錠 300円(税別・郵送料別)

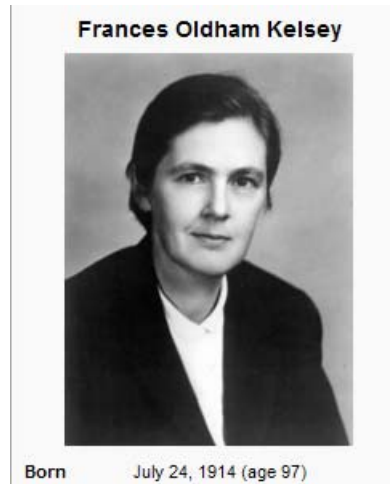
大日本製薬

催眠剤にはいろいろの好ましくない性質をもつものがあります
(1) 麻酔性をもつものがある。一服飲んだらには多少なりとも麻酔性をもつものがあります。一般に麻酔時には起っているとき麻酔による麻痺により、その麻酔の度によって、麻酔の強さを調節することができません。
(2) クセになるものが多い。
(3) 毒性。
(4) 呼吸抑制。
(5) 嘔吐。
(6) 尿閉。
(7) 血圧低下。
(8) 瞳孔散大。
(9) 皮膚発疹。
(10) 呼吸器障害。
(11) 肝臓障害。
(12) 腎臓障害。
(13) 心臓障害。
(14) 脳障害。
(15) 骨格系障害。
(16) 造血系障害。
(17) 内分泌系障害。
(18) 免疫系障害。
(19) 生殖系障害。
(20) 排泄系障害。
(21) 運動系障害。
(22) 感覚系障害。
(23) 精神系障害。
(24) 神経系障害。
(25) 血管系障害。
(26) 消化系障害。
(27) 泌尿系障害。
(28) 生殖器障害。
(29) 乳房系障害。
(30) 皮膚系障害。
(31) 眼系障害。
(32) 耳系障害。
(33) 鼻系障害。
(34) 舌系障害。
(35) 咽喉系障害。
(36) 食道系障害。
(37) 胃系障害。
(38) 小腸系障害。
(39) 大腸系障害。
(40) 直腸系障害。
(41) 肛門系障害。
(42) 泌尿系障害。
(43) 生殖器障害。
(44) 乳房系障害。
(45) 皮膚系障害。
(46) 眼系障害。
(47) 耳系障害。
(48) 鼻系障害。
(49) 舌系障害。
(50) 咽喉系障害。
(51) 食道系障害。
(52) 胃系障害。
(53) 小腸系障害。
(54) 大腸系障害。
(55) 直腸系障害。
(56) 肛門系障害。
(57) 泌尿系障害。
(58) 生殖器障害。
(59) 乳房系障害。
(60) 皮膚系障害。
(61) 眼系障害。
(62) 耳系障害。
(63) 鼻系障害。
(64) 舌系障害。
(65) 咽喉系障害。
(66) 食道系障害。
(67) 胃系障害。
(68) 小腸系障害。
(69) 大腸系障害。
(70) 直腸系障害。
(71) 肛門系障害。
(72) 泌尿系障害。
(73) 生殖器障害。
(74) 乳房系障害。
(75) 皮膚系障害。
(76) 眼系障害。
(77) 耳系障害。
(78) 鼻系障害。
(79) 舌系障害。
(80) 咽喉系障害。
(81) 食道系障害。
(82) 胃系障害。
(83) 小腸系障害。
(84) 大腸系障害。
(85) 直腸系障害。
(86) 肛門系障害。
(87) 泌尿系障害。
(88) 生殖器障害。
(89) 乳房系障害。
(90) 皮膚系障害。
(91) 眼系障害。
(92) 耳系障害。
(93) 鼻系障害。
(94) 舌系障害。
(95) 咽喉系障害。
(96) 食道系障害。
(97) 胃系障害。
(98) 小腸系障害。
(99) 大腸系障害。
(100) 直腸系障害。
(101) 肛門系障害。
(102) 泌尿系障害。
(103) 生殖器障害。
(104) 乳房系障害。
(105) 皮膚系障害。
(106) 眼系障害。
(107) 耳系障害。
(108) 鼻系障害。
(109) 舌系障害。
(110) 咽喉系障害。
(111) 食道系障害。
(112) 胃系障害。
(113) 小腸系障害。
(114) 大腸系障害。
(115) 直腸系障害。
(116) 肛門系障害。
(117) 泌尿系障害。
(118) 生殖器障害。
(119) 乳房系障害。
(120) 皮膚系障害。
(121) 眼系障害。
(122) 耳系障害。
(123) 鼻系障害。
(124) 舌系障害。
(125) 咽喉系障害。
(126) 食道系障害。
(127) 胃系障害。
(128) 小腸系障害。
(129) 大腸系障害。
(130) 直腸系障害。
(131) 肛門系障害。
(132) 泌尿系障害。
(133) 生殖器障害。
(134) 乳房系障害。
(135) 皮膚系障害。
(136) 眼系障害。
(137) 耳系障害。
(138) 鼻系障害。
(139) 舌系障害。
(140) 咽喉系障害。
(141) 食道系障害。
(142) 胃系障害。
(143) 小腸系障害。
(144) 大腸系障害。
(145) 直腸系障害。
(146) 肛門系障害。
(147) 泌尿系障害。
(148) 生殖器障害。
(149) 乳房系障害。
(150) 皮膚系障害。
(151) 眼系障害。
(152) 耳系障害。
(153) 鼻系障害。
(154) 舌系障害。
(155) 咽喉系障害。
(156) 食道系障害。
(157) 胃系障害。
(158) 小腸系障害。
(159) 大腸系障害。
(160) 直腸系障害。
(161) 肛門系障害。
(162) 泌尿系障害。
(163) 生殖器障害。
(164) 乳房系障害。
(165) 皮膚系障害。
(166) 眼系障害。
(167) 耳系障害。
(168) 鼻系障害。
(169) 舌系障害。
(170) 咽喉系障害。
(171) 食道系障害。
(172) 胃系障害。
(173) 小腸系障害。
(174) 大腸系障害。
(175) 直腸系障害。
(176) 肛門系障害。
(177) 泌尿系障害。
(178) 生殖器障害。
(179) 乳房系障害。
(180) 皮膚系障害。
(181) 眼系障害。
(182) 耳系障害。
(183) 鼻系障害。
(184) 舌系障害。
(185) 咽喉系障害。
(186) 食道系障害。
(187) 胃系障害。
(188) 小腸系障害。
(189) 大腸系障害。
(190) 直腸系障害。
(191) 肛門系障害。
(192) 泌尿系障害。
(193) 生殖器障害。
(194) 乳房系障害。
(195) 皮膚系障害。
(196) 眼系障害。
(197) 耳系障害。
(198) 鼻系障害。
(199) 舌系障害。
(200) 咽喉系障害。
(201) 食道系障害。
(202) 胃系障害。
(203) 小腸系障害。
(204) 大腸系障害。
(205) 直腸系障害。
(206) 肛門系障害。
(207) 泌尿系障害。
(208) 生殖器障害。
(209) 乳房系障害。
(210) 皮膚系障害。
(211) 眼系障害。
(212) 耳系障害。
(213) 鼻系障害。
(214) 舌系障害。
(215) 咽喉系障害。
(216) 食道系障害。
(217) 胃系障害。
(218) 小腸系障害。
(219) 大腸系障害。
(220) 直腸系障害。
(221) 肛門系障害。
(222) 泌尿系障害。
(223) 生殖器障害。
(224) 乳房系障害。
(225) 皮膚系障害。
(226) 眼系障害。
(227) 耳系障害。
(228) 鼻系障害。
(229) 舌系障害。
(230) 咽喉系障害。
(231) 食道系障害。
(232) 胃系障害。
(233) 小腸系障害。
(234) 大腸系障害。
(235) 直腸系障害。
(236) 肛門系障害。
(237) 泌尿系障害。
(238) 生殖器障害。
(239) 乳房系障害。
(240) 皮膚系障害。
(241) 眼系障害。
(242) 耳系障害。
(243) 鼻系障害。
(244) 舌系障害。
(245) 咽喉系障害。
(246) 食道系障害。
(247) 胃系障害。
(248) 小腸系障害。
(249) 大腸系障害。
(250) 直腸系障害。
(251) 肛門系障害。
(252) 泌尿系障害。
(253) 生殖器障害。
(254) 乳房系障害。
(255) 皮膚系障害。
(256) 眼系障害。
(257) 耳系障害。
(258) 鼻系障害。
(259) 舌系障害。
(260) 咽喉系障害。
(261) 食道系障害。
(262) 胃系障害。
(263) 小腸系障害。
(264) 大腸系障害。
(265) 直腸系障害。
(266) 肛門系障害。
(267) 泌尿系障害。
(268) 生殖器障害。
(269) 乳房系障害。
(270) 皮膚系障害。
(271) 眼系障害。
(272) 耳系障害。
(273) 鼻系障害。
(274) 舌系障害。
(275) 咽喉系障害。
(276) 食道系障害。
(277) 胃系障害。
(278) 小腸系障害。
(279) 大腸系障害。
(280) 直腸系障害。
(281) 肛門系障害。
(282) 泌尿系障害。
(283) 生殖器障害。
(284) 乳房系障害。<

米国での審査

- 1960年、米国FDA (Food and Drug Administration)、サリドマイド剤を認可せず。
 - 担当官: ケルシー
 - 胎児への影響に関するデータがない。
 - アメリカ国民を薬害から守ったとして、ケネディ大統領から表彰される。
 - President's Award for Distinguished Federal Civilian Service (連邦政府の公務員として特別な働きをした人に、大統領から贈られる賞)

Frances O Kelsey

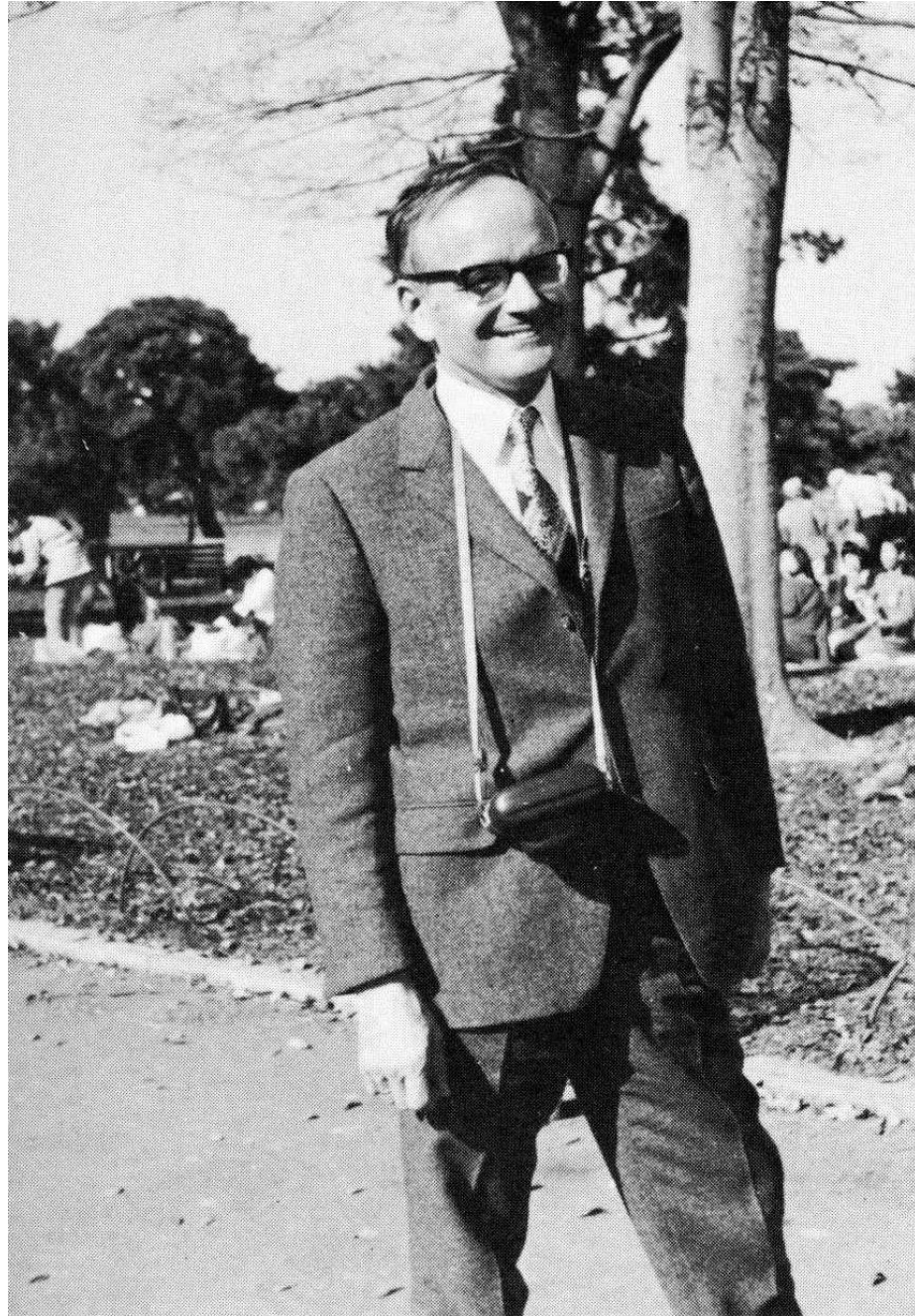


1962: Frances Kathleen Oldham Kelsey receiving the President's Award for Distinguished Federal Civilian Service from President John F. Kennedy

ドイツでの調査

- それまでほとんど見られなかった**新しいタイプの新生児の奇形**が1959年頃から恐るべき勢いで増加していることが報告された。
- 何らかの化学物質が原因？
- **レントツ博士による調査**（1961年11月初旬～）
 - ハンブルク大学小児科の医師。人類遺伝学者。
 - 最初に訪問した3人の奇形の子供の家庭で、いずれも母親がサリドマイドを服用していた
- **1961年11月18日 レントツ警告**
 - 小児科学会（地方会）の席上で、ある大衆薬が奇形の原因と疑われることを報告。

レントツ博士



2021/6/3

レントツ警告(1961/11/18)

- 小児科学会(地方会)席上での発言

「人間としても、市民としても、私は自分の観察した事実について沈黙を守ることは、無責任なことと考えます。これが、人間的、心理的、法的、金銭的に計り知れない結果を伴うかもしれないことを考えて、私は小児科医、薬理学者と各々相談した後、メーカーに私の観察結果を知らせ、また無害性が確実に立証されるまで、この薬を直ちに回収すべきであるという私見を伝え...」、「これらの排除が1か月遅れるごとに、甚だしい奇形児は恐らく50ないし100名増えることになるでしょう」

日本語訳の出典: 栢森良二 「サリドマイド物語」. 医歯薬出版, 1997.

レンツ警告後の対応

- 西ドイツ
 - 11月25日にサリドマイドを市場から回収することを決定
- ヨーロッパなど西欧諸国
 - 西ドイツと同時期に販売停止・回収
- 日本
 - 厚生省「レンツ警告には科学的根拠がない」
 - 新たに別の1社に製造承認
 - 大日本製薬：販売の主力を睡眠薬から胃腸薬に切り替えて宣伝

「十年前、最初の警告」 レンツ証言第二日

十日で回収決定 日本から問合わせなし



レンツ博士

東京地裁は、十年前の「最初の警告」で、日本から問合わせなしで、十日で回収決定した。レンツ博士は、一九六二年、東京地裁に訴え、日本から問合わせなしで、十日で回収決定した。レンツ博士は、一九六二年、東京地裁に訴え、日本から問合わせなしで、十日で回収決定した。

レンツ博士は、十年前の「最初の警告」で、日本から問合わせなしで、十日で回収決定した。レンツ博士は、一九六二年、東京地裁に訴え、日本から問合わせなしで、十日で回収決定した。レンツ博士は、一九六二年、東京地裁に訴え、日本から問合わせなしで、十日で回収決定した。

1971年11月5日毎日新聞

サリドマイド児の 更生基金に二百億円

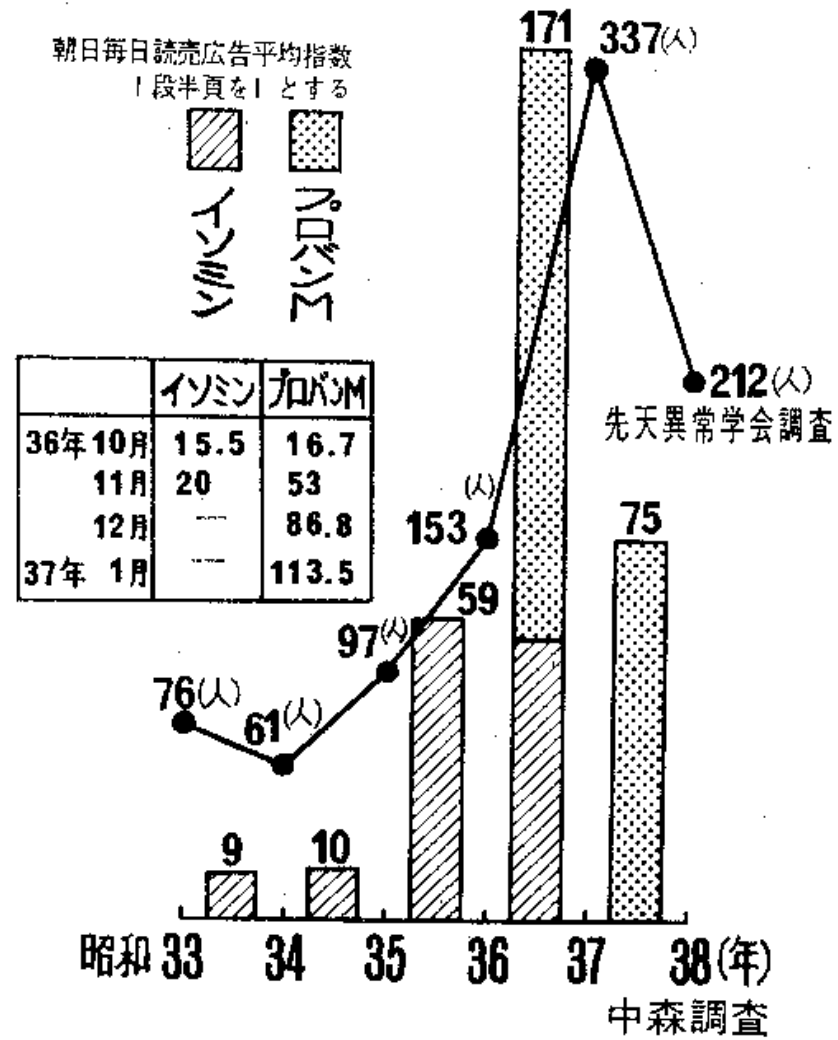
西独

【東京5日電】西独連合国は、サリドマイド児の更生基金に二百億円を拠出する。この基金は、サリドマイド児の更生を目的として設立された。基金の総額は二百億円に達する。この基金は、サリドマイド児の更生を目的として設立された。基金の総額は二百億円に達する。

1971.11.5 毎日

2021/6/3

新聞広告指数とあざらし状異常児発生数



日本での販売停止

- 1962年
 - 8.26 北海道大学、梶井講師が日本でのサリドマイド児の症例を発表
 - 9.13 大日本製薬、サリドマイドの販売停止・回収を発表
 - 西ドイツなど(1961年11月)諸外国から遅れること10ヶ月
 - しかし、回収は不徹底
 - 販売停止・回収の遅れにより被害が倍増

1962年10月 札幌で生まれる

- 生まれて数日後、父親が有名デパートの薬売り場でサリドマイド剤を購入(まだ売られていた！)

日本における 出生年別のサリドマイド被害者数

生年	1959	1960	1961	1962	1963	1964		1969	計
被害者数	12	25	58	162	47	4		1	309

↑ ↑
レンツ警告 日本での
販売停止

レンツの症例対照研究の結果(1962)

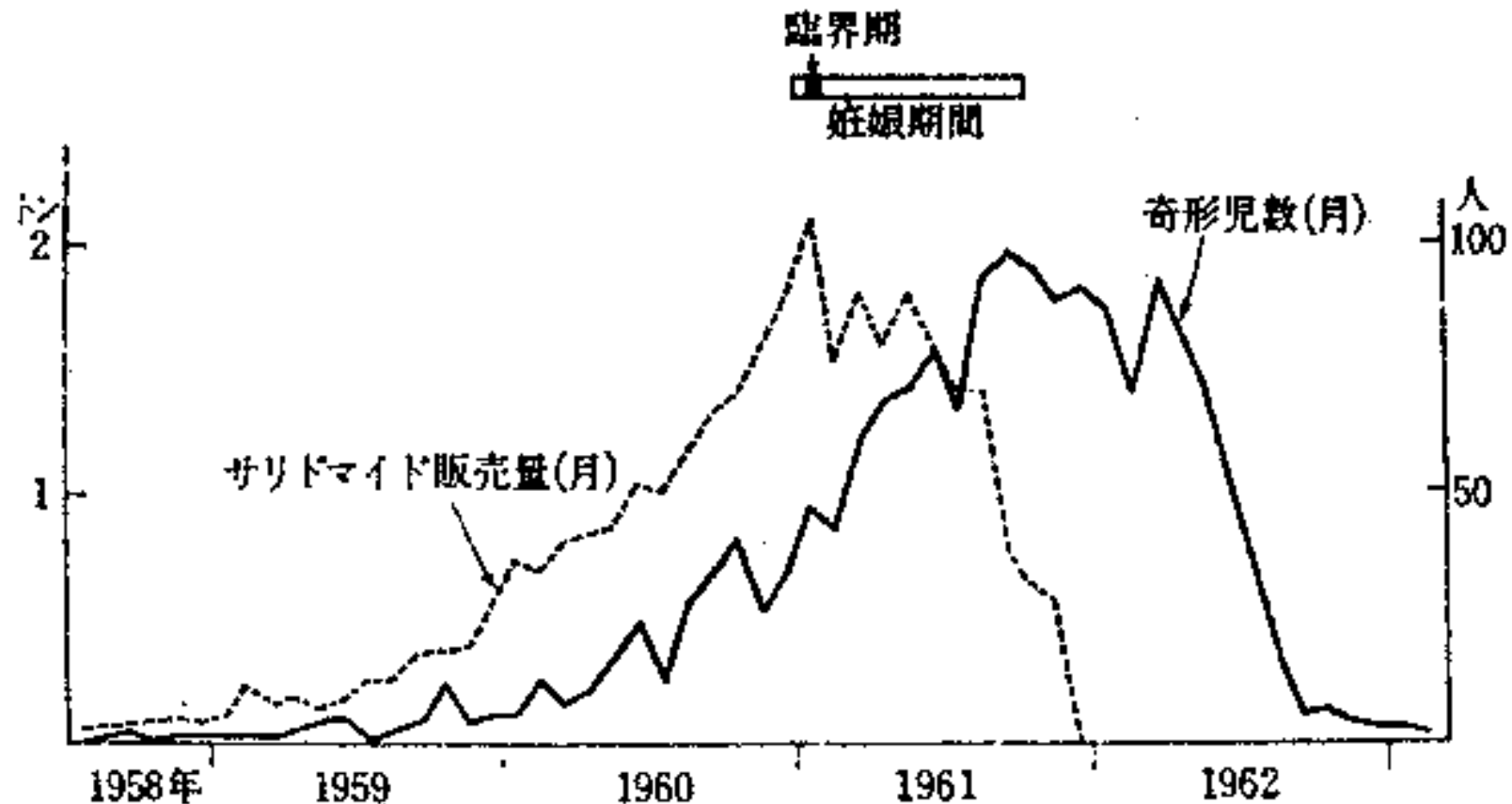
母親の妊娠初期におけるサリドマイドの服用	症例 奇形の子供	対照 健常な子供
あり	90	2 [†]
なし(確認できず)	22 [*]	186
計	112	188

* 22例のうち妊娠初期の使用が明確に否定された例はなかった。

† 2例とも服用の時期は不明(注: ケースと同じ基準を用いれば「服用なし」に分類すべきかもしれない)。

- ケースにおける使用割合: $90/112=80.4\%$
- コントロールにおける使用割合: $2/188=1.1\%$

傾向分析



サリドマイド販売量と奇形児出産数の変化。1959年から1962年にかけて、西独での販売量と異常児数との間にはきわ立った関係がみられる。妊娠期間を考慮すると、二つの山はよく重なる。

サルの胎児にも奇形

サリドマイド剤を投与 京大の実験で立証

【京都】京大医学部解剖学教室の西村秀雄教授、谷村泰満助らの研究グループは、妊娠したニホンサルにサリドマイドを投与する実験をしていたが、その胎児にサリドマイドによると思われる奇形ができたことをつきとめた。奇形のタイプは、人の場合とそっくりだった。同じような実験結果はアメリカを中心とする世界で数例報告されているが、日本では初めて。進行中のサリドマイド訴訟にも複雑な影響を与えそうだ。

実験は、大山市の日本モンキーセンター、東京の実験動物中央研究所の協力で行われた。京大での実験は類人猿類に次いで人間に近いとされるニホンサル。受胎後二十四日目のもに体重一ポンド（二〇グラム）のサリドマイドを三回にわたって投与。受胎後六十日後（通常出産は六カ月）の一月二十日に解剖、五つぐらいの大きさに成長した胎児を調べた。

その結果、二例とも人間のサリドマイド患児の手足などに異常が見られた。一例は腕が正常なものより短く、指も四本。もう一例は、足の指が六本になっていた。また、日本モンキーセンターなどで実験した赤毛サルの場合も、腕がなかったり、指が多すぎたり少なかったり、四例とも人間と同じような奇形だった。

サリドマイドと奇形の関係は、二例のことで、物証にはなると思われる。サリドマイドは、胎児の発生過程が人に近いニホンサルを使つての実験は世界

サリドマイドと奇形の関係は、二例のことで、物証にはなると思われる。サリドマイドは、胎児の発生過程が人に近いニホンサルを使つての実験は世界

サリドマイドと奇形の関係は、二例のことで、物証にはなると思われる。サリドマイドは、胎児の発生過程が人に近いニホンサルを使つての実験は世界

1971.1.28 朝日(夕)



1971.2.18 東京(夕)



1971.9.13 朝日

「この薬害を告発する」

サリドマイド裁判勝利へ行脚



国と製薬企業へ
怒りぶつつける

[illegible][illegible]

日比谷公園で演説する
ンバ活動。愛知県内に住む
無国籍の父親を持つ子へ
水俣病を患う者の貧困
と十四、五人もこれに罹患
し、薬物中毒やリウマチ
と戦う母が自ら手立てて
人たちに説明、貧民窟へ
の支援を呼びかけた。
オウパン舞は演劇、愛

[illegible]

関西でも支援組織を結成

【追記】「エリート」ですと
聞かせる。送るための連絡
会議の結成準備が、一日
午後一時から、前橋市の京
都府有七シヤターでひらかれ
関係者で十数人集まる。後
援が新聞関係者。ここに

「たゞ、車には経済界の大家
家全仕込め、若い士族、学
生、武官、公務員、金持等
皆通で、朝晩に約百五十
人が乗ります。これだけの交
通量動について乗り合わせた
車では一サリドマイド
満員電車と云ふ高層の合
成のバスには及びません」
同僚記者の談話によれば、こ
れが東京の交通事情は、これ
まで最悪であったサリドマ
イド時代だ、ようやく内閣
運輸としてこの辺りから改善
はじめて多量輸送の必要

が、憲法會議に強制のない
ゆるやかな運動体として議
決を促すこと、教育者の重
要性を自覚せしめ、なによりも
教育者となるというべき意識
の育成が目的です。

あること表明済みにするため、あらゆる方法でこれら
の被害者を救済するの義務
を負わたります。これは生計
を営むのに十分なリハビリ
テーション、教育、その他
の必要が提供せられてこ

なにか、商業行政の根本的改善を促すために要求する。なにかをやらせろ。

三〇、八木峠と地方（ヤリドマイド）植物を採集するための「植物会議」。土曜早稲田市水鏡七、二二〇、平沢正幸、方（ヤリドマイド）を採集する（左の図）。

本日本製鋼の買付を減らすと、同社が、東亜冶金COと製鋼業の提携のCOと

「お世でねていよ」と

正印

[illegible]

業へける

1971.10.10
社会新報



1971.11.2 毎日

サリドマイド
訴訟

ティエルシュ証言始まる

「販売前にわかっていた」

聴き入る患者家族

サリドマイド事件の証人として登場する「ティエルシュ」氏。1973年10月17日、東京地裁で

【東京17日電】サリドマイド事件の証人として登場する「ティエルシュ」氏が、17日午前10時、東京地裁で証言を開始した。ティエルシュ氏は、サリドマイドの製造元である「グロブニャク」社の元社員で、同社に在籍していた期間、同社の幹部から「サリドマイドは安全な薬品である」という説明を受けたと証言した。また、同氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。ティエルシュ氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。また、同氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。

【東京17日電】サリドマイド事件の証人として登場する「ティエルシュ」氏が、17日午前10時、東京地裁で証言を開始した。ティエルシュ氏は、サリドマイドの製造元である「グロブニャク」社の元社員で、同社に在籍していた期間、同社の幹部から「サリドマイドは安全な薬品である」という説明を受けたと証言した。また、同氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。ティエルシュ氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。また、同氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。

【東京17日電】サリドマイド事件の証人として登場する「ティエルシュ」氏が、17日午前10時、東京地裁で証言を開始した。ティエルシュ氏は、サリドマイドの製造元である「グロブニャク」社の元社員で、同社に在籍していた期間、同社の幹部から「サリドマイドは安全な薬品である」という説明を受けたと証言した。また、同氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。ティエルシュ氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。また、同氏は、同社の幹部から「サリドマイドは、小児の手足の発達を促進する薬品である」という説明を受けたと証言した。

1973.10.17 朝日(夕)

2021/6/3

手や耳がほしい!

サリドマイド兎代表

「それはいや、お宅をいらない。ふうの人のまな子がほしい。其がほしい」。七日、大阪・北區中之島の大阪中央會堂に開かれたサリドマイド裁判審判のための開庭集會で、五人のサリドマイド親が首をしめ終りを遂げた。サリドマイド親母が公の席上で進出したのはじめてで、無高な妻又は約百人の出席の例をしめつけた。

[illegible]

「手や耳がほしい」—と多数の人を前に、はじめて苦しみや怒りを訴えるサリドマイド児（大阪中央公会堂で）

と、腹に自分のニツクネム、
に「要領直放」のセツケンをつけた
被面兒が壇上へ。胸がなく、肩
から両手が出た。耳がほとん
どない子一命出で十八人。

で、さうながら、新聞社や、印刷局、民衆を告別した。

サリド・マイド兄は、いまの小三郎生、年中學一年生、さる七月、広島縣の廣瀬で一人が証人となつたことがあつて、多くの人を驚かす秘訣がその時はじつめ、最後に「世の中はさうとかならぬ自由な人々である。スダラカな親でんがはよい」と述べた。親戚たちのけなげな伏魔に、愛むる女性が多かつた。

ついに3千万通を突破

全国の郵便滞留

東住江屋敷明神町、加賀甲
子年、寺殿に子父二代代
五人が参出で、周章と云た又
毛をみながら野伏た。
「相手が相腹いので、美姫は遠
く逃がさん。場所へひどくでこ
うして、お世せん。わたしは逃げ
る。」

は誰でも、お参りしない。あつうの人のちな手はほしし」
「お足の不自由な人はあつしなちてみてくださる。馬車のなかで、みんなお参るおしめは、このえちありませう。大日本乗業の甚だは、わたしちあのことわかつてゐるのじようか。」不田ながらたをアール、三子の大台を起した。

阪大総長わびる

因果関係否定の杉山論文で



營業部長

大塚大学の常任理事部長が、サリドマイドと胎児異常との因果関係を調査する。



常任理事部長

関係者として岡大生土師、村山教授と、東郷等のいづれも「サリドイド」の被害者だといわれた。村山さんについて、サリドイドの製造現場において、薬剤の調製者として活動していたと、公訴状で説明の「おわり」をうたったことが、明らかだ。

關係にあるとする。ドイツのレンツ博士の主張に対して「データが根本的に正しい」と批判。奇形児の発生率をサリドマイドの服用量との關係をみるグラフを添へ「圖書に相圖が描かれていない」と述べた。

七日の集會の席上、おれは、
事實を明らかにした大阪大学サリ
ドマイド裁判を攻撃する運動が、
世間人、中村梧史・藤田工三郎助
手による、誤謬、校長の、おれ
び、は十二月二十七日公文書とし

て「リイド」イデオロギーを導く。市民の代表、平沢正次、平沢誠、小笠原七郎、あてに「麗遊」された。

麗遊會は、この中で「山陽論文」に限りあつた。同じ大の文士の地位にあるものとして、心から遺憾の意を表します。私としても不意な発表が社会に及ぼす重大さを今さらながら感じ、今後、細心の注意をもって学術研究に従事し、再びこのような過ちのないよう、本学研ニスタッフ一同と

この「山陽論文」は発表される。すく、高麗院止、議論が「麗遊學問」に限りがある。よ、初版的なふを指摘。山陽は九九年二月二十九日の「日本経済新聞」に「リイド論文の発表をめぐって、国際関係クラブを創設する」と表明した。この点を出して、不審だったと訂正論文を出している。

この「和蘭文」は明治五年（一八七二）とすべく、高橋玄史（康大郎）が「統計学」の訳りがあつた」と、初版的なミスと指摘。村山眞は九月二十日付の「日本国事新報」に誌上に「統計学」の表を掲載せよ、因縁関係のグラフを問ひながら、不意打ちだったと前置し論文を出している。

1973.12.8
サンケイ



1973.12.24 朝日

2021/6/3

35



2021/6/3

36

「ごめんね、涙で謝罪」大日本製菓 宮武社長

954

子供の手にぎりしめ

「約束きつと守ります」



「申し訳ありません」と謝罪書たちの手紙にきりしめ
宮武大日本製菓社長・平河町の野島町商店街で

さめた目で見つめる被害児

過去忘れ立派な大人に...

サリドマイド
訴訟和解調印

1974.10.14 東京

2021/6/3

サリドマイド訴訟の和解(1974)

- 国と製薬会社が因果関係と責任を認め、損害賠償
- サリドマイド福祉センター(財)いしずえの設立
- 和解確認書
 - 厚生大臣は、本確認書成立にともない、国民の健康を積極的に増進し、心身障害者の福祉向上に尽力する基本的使命と任務を改めて自覚し、今後、新医薬品承認の厳格化、副作用情報システム、医薬品の宣伝広告の監視など、医薬品安全性強化の実効をあげるとともに、国民の健康保持のため必要な場合、承認許可の取消、販売の中止、市場からの回収等の措置をすみやかに講じ、サリドマイド事件にみられるごとき悲惨な薬害が再び生じないよう最善の努力をすることを確約する。

障害をもって生きる

生まれたときの対応

- 被害児の家庭の多くは、様々な困難に
 - 産科医の対応
 - 親のショック
 - 周囲・家族からの言葉
 - 「血の汚れ」、「うちの家系にはいない」
 - 離婚など家庭崩壊も
 - 子育ての決意
 - 病院探し

人並みのことができるように

- 被害児たちの幼児期
 - 手術
 - 結果として機能は改善せず
 - 日常生活動作、排泄自立の訓練、施設入所も
 - 義手の開発
 - 被害児には無用の長物
 - 就学問題
 - 普通学校入学を求め、親たちが運動
 - 養護学校、聾啞学校へすら入学させてもらえない例も

学校と友だち

- 小・中学校時代
 - いじめ
 - 鉄棒、飛び箱
 - 笛
 - 遊び
- 支援者・ボランティアの取り組み
 - 被害児が外に出るように
 - 夏のキャンプ
 - サッカーチーム
 - スキーキャンプ

自立した大人へ

- 高校から進学・就職
 - 個人的な経験
- 生活の自立
- 結婚、家事、育児
- 中年期から老年期の課題

現在(中年期)の課題

- 健康問題
 - 最近新たに分かったこと: 血管や内臓の異常
 - 使いすぎによる二次障害
 - 肩や背中・腰の痛み、腕や指のしびれなど
- 生活上の問題
 - 一部の被害者は、親に依存
 - 親の介護
- 就労問題
 - リストラ
 - 若い頃のような無理がきかない
 - 健常者と同じように働けない、早期退職

中年期の二次障害

- 無理な姿勢、使いすぎによる二次障害
 - 肩の痛み、腰痛
 - 手のしびれ(手根管症候群など)
 - 股関節の障害の悪化
 - 聴力の低下
- 二次障害のため就労の継続が困難な被害者も

医療に関する不安

- ・ サリドマイド被害者の要望
 - － 各々の居住地で、サリドマイド胎芽病について理解している医師により、安心して医療を受けたい
 - － 医療費の無料化
 - － マッサージ費用の補助

上肢障害者はマイノリティ

- 四肢障害者の多くは下肢障害
 - 車イスを利用する方が多く、福祉制度上、上肢障害者に対する補助は限られている。
 - バリアフリーの観点からの整備（駅や建物）でも、上肢障害者の視点に欠ける場合がある。
 - 車を運転するとき
 - 駐車場の発券機など

薬剤疫学の専門家になる

- 薬学部に進んだ理由(北海道大学)
 - 分子生物学に興味があった。
 - 薬のことはやりたくなかった！
- 研究を志した理由(同 大学院環境科学研究科修士課程)
 - その後も薬害発生が続いている！
 - レンツの症例対照研究
- 薬剤疫学(東京医科歯科大学大学院医学系研究科博士課程)
 - 医薬品の安全性評価
 - 疫学の手法を利用
- 研究者に(東京大学医学部薬剤疫学講座)

繰り返された薬害

- 薬害エイズ

- 販売中止の遅れ、回収の遅れ

- 1982.7 AIDS命名、米で血友病患者の感染者3例報告
 - 1983.1 米国で血液製剤の危険性指摘
 - 3 米国、加熱濃縮製剤を承認
 - .6 厚生省エイズ研究班を組織
 - .7 日本初の血液製剤によるエイズ患者の報告
 - 1985.7 厚生省、加熱製剤(第八因子製剤)の製造承認
 - 非加熱製剤の販売中止・回収をせず

- 被告企業、ミドリ十字(当時)の社長、松下廉蔵

- 有罪判決(大阪高裁)
 - 元厚生省薬務局長、サリドマイド訴訟の和解交渉の責任者



2021/6/3

厚生労働省の庭に建立

誓いの碑

命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、HIV感染のような医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないよう医薬品の安全性・有効性の確保に最善の努力を重ねていくことをここに銘記する。

千数百名もの感染者を出した「薬害エイズ」事件
このような事件の発生を反省しこの碑を建立した

平成11年8月 厚生省



中学校3年生向けの 社会科の教材

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakugai/index.html>



2021/6/3





サリドマイド被害者 増山^{ますやま}ゆかりさん

被害を繰り返さないために——この薬の危険性を知って慎重に使用してほしい

私たちサリドマイド被害者は、生涯^{しょうがい}にわたって多くの犠牲^{ぎせい}を払ってきました。親が離婚した人、親元を離れて病院や施設で暮らさなければならなかった人がいます。学校でいじめられた人、道を歩いているだけで「あっちに行け」と石を投げられた人もいます。大人になった今も、不自由な体で無理をして仕事や家事をしてきたため、体の不調を訴える人が多くいます。障害のためにやりたいことが出来ない自分が悲しくなります。どんなに努力しても願い^{かな}が叶わないことがたくさんあります。しかし、私たちはそれを恨^{うら}んでも道^{みち}が拓く

ことはないと思っています。力強く生きることで苦難を乗り越えるしかないので。このサリドマイドが、現在、再び認可され使われています。多発性骨^{たはつせいこつ}髄腫^{ずいしゅ}という血液のがんやハンセン病の症状に効果があることが分かったためです。薬そのものが悪いのではない——二度と同じような被害を起こさないために、この薬の危険性をよく知って、慎重に使用してほしいと思います。



※写真は、ご本人が幼少時のものです。

繰り返された薬害

- HPVワクチン薬害

- 2009年12月 サーバリックス販売開始
- 2010年10月 緊急促進事業：接種費用の公費助成
- 2011年8月 ガーダシル販売開始
- 2013年4月 定期接種開始
- 接種対象となった女子中・高校生に、全身の疼痛、知覚障害、運動障害、記憶障害、内分泌障害等の深刻な被害が発生
- 2013年6月 積極的勧奨の中止
- 2016年7月 被害者(63名)・家族が提訴(現在は原告130名以上)



All Japan Coordinating Association of HPV Vaccine Sufferers

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

被害者救済状況 救済まとめ

岡山県リーフレット使用中止の要請

ようこそ 募金受付中 被害者の声 海外の被害の現状 新聞記事 日本や海外の被害者 動画まとめ

★NEW★ 国、自治体への要望・陳情等

わたしたちの声・願い

Letter to Riko Muranaka
村中璃子氏の不適切取材の全容
2016.3.15付 English edition

NHKおはよう日本への抗議
2021.3.5付

相談/お問合せ 募金受付中！ ★NEW★ 新着情報



information
全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会事務局
〒191-0043
東京都日野市平山5-19-11
TEL042-594-1337
FAX042-594-1337
代表 松藤 美香
副代表 山田真美子
事務局長 池田としえ

<https://hpvv-nonono.wixsite.com/mysite>

2021/6/3

58



HPVワクチン薬害訴訟全国弁護団

ホーム

新着記事

被害者の声

Q & A

主要資料

声明・意見書

HPVワクチンリーフレット問題

活動のあゆみ（年表）

過去記事一覧

各地訴訟のページ

支援の輪

オンライン授業

連絡先

English

<https://www.hpv-yakugai.net/>



左から東京訴訟原告の望月瑠菜さん、酒井七海さん（全国原告団代表）、久永奈央さん
（2018/06/14 厚生労働省記者クラブ）

酒井七海さんの講義は7月1日

<https://www.hpv-yakugai.net/history/>



2020年9月発行 作成：HPVワクチン薬害訴訟全国原告団 連絡先：HPVワクチン薬害訴訟全国弁護団

<https://www.hpv-yakugai.net/2020/09/25/illustration/>

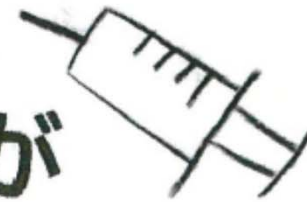
2021/6/3

61



子宮頸がん

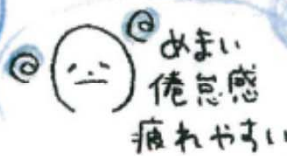
HPV ワクチンが 私たちの世界を変えた



急に寒くなる
いつも手足が冷たい



過呼吸
動悸



めまい
倦怠感
疲れやすい



カラダのいろいろなところが痛い
ず、とず、と痛い
寝ても走っても
ずーと痛いよ



夜は寝れない
朝は起きれない



ハンマーで
区切られたような
頭痛

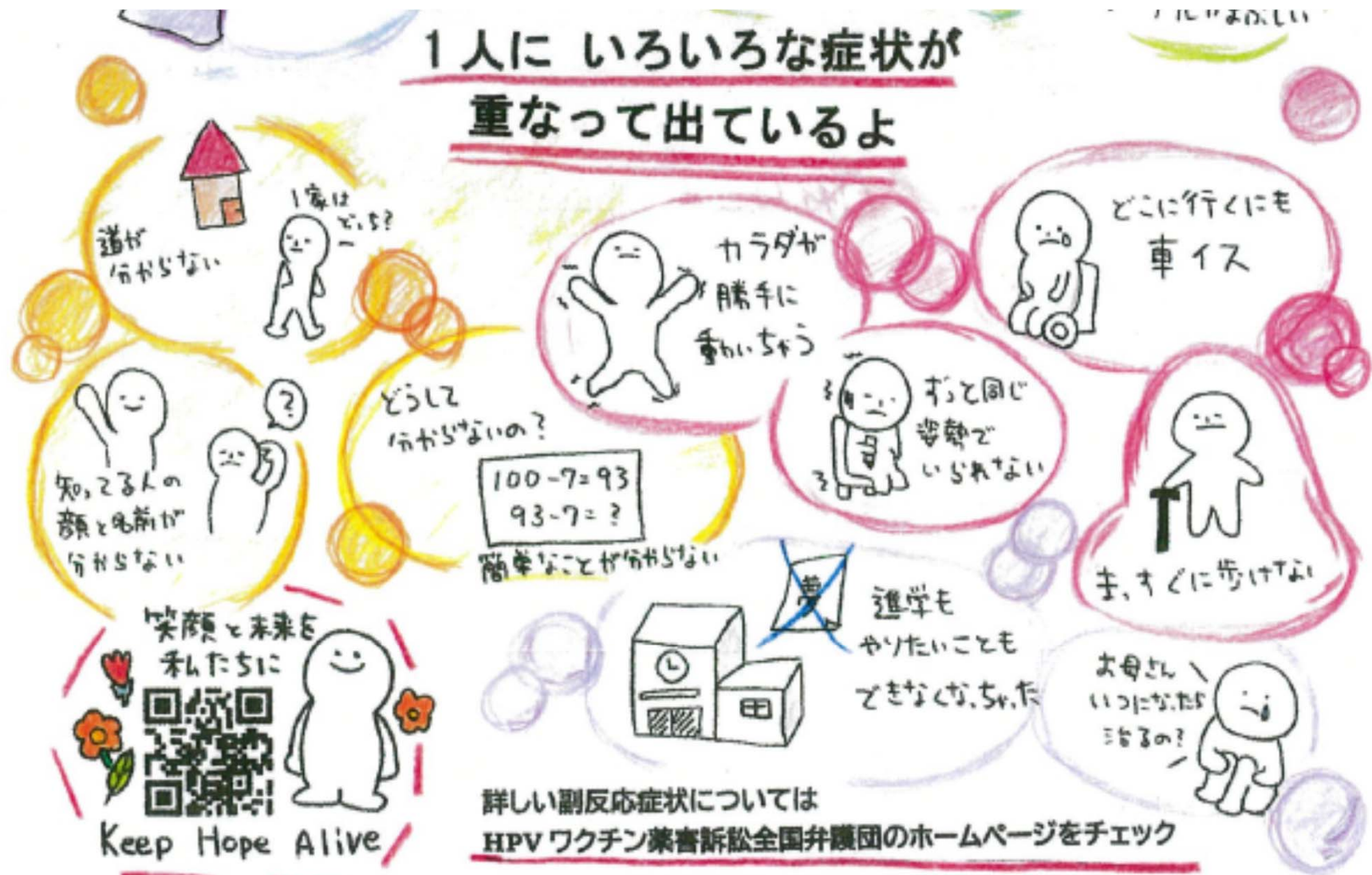


目の奥が
痛い



サングラスを
しないと
目をあけられない
光がまぶしい

1人にいろいろな症状が
重なって出ているよ



2020年9月発行 作成：HPVワクチン薬害訴訟全国原告団 連絡先：HPVワクチン薬害訴訟全国弁護団

【副反応報告頻度の比較】

(100万回接種当たり)			
ワクチン名	対象期間	報告頻度	うち重篤
(A) HPVワクチン計		355.8	206.0
サーバリックス	H21.12～R2.4.30	362.2	213.0
ガーダシル	H23.8～R2.4.30	334.0	181.9

(A)/(B) 8.53倍

(B) 主な定期接種ワクチン計		40.2	24.1
DPT(ジフテリア・百日咳・破傷風)	H25.4.1～R2.2.29	101.3	39.3
DT(ジフテリア・破傷風)	H25.4.1～R2.2.29	12.2	2.8
不活化ポリオ	H24.8～R2.2.29	19.7	10.4
四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	H24.10～R2.2.29	36.6	23.8
風しん	H25.4.1～R2.4.30	28.5	19.6
麻しん	H25.4.1～R2.4.30	41.4	36.8

<https://www.hpv-yakugai.net/documents/>

医薬品等行政評価・監視委員会

- 薬害を防止するための第三者的な組織
- 役割
 - 医薬品等の安全性の確保と医薬品等の使用による保健衛生上の危害の発生・拡大の防止に関する施策の実施状況の評価および監視
 - 必要に応じて、上記の施策について厚生労働大臣に意見を述べ、または勧告すること
- 課題
 - 独立性：事務局は厚労省（厚生科学課）
 - 機動性：開催頻度・体制が不十分

コロナワクチンによる 薬害が起きている？


[本文へ](#)
[お問い合わせ窓口](#)
[よくある御質問](#)
[サイトマップ](#)
[国民参加の場](#)

[ホーム](#)

[テーマ別を探す](#)
[報道・広報](#)
[政策について](#)
[厚生労働省について](#)
[統計情報・白書](#)
[所管の法令等](#)
[申請・募集・情報公開](#)

[ホーム](#) > [政策について](#) > [審議会・研究会等](#) > 厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会）

厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会）

回数	開催日	議題等	議事録／議事要旨	資料等	開催案内
第60回	2021年5月26日 (令和3年5月26日)	(1) 新型コロナワクチンの接種及び副反応疑い報告の状況等について (2) 新型コロナワクチンの先行接種者健康調査について (3) その他	—	資料 NEW 5月26日 遵守事項等資料 NEW 5月26日	開催案内 NEW 5月21日
第59回	2021年5月21日 (令和3年5月21日)	(1) 新型コロナワクチンの副反応への対応について (2) その他	—	資料 NEW 5月21日 遵守事項	開催案内 NEW 5月20日

[政策について](#)

- [分野別の政策一覧](#)
- [組織別の政策一覧](#)
- [各種助成金・奨励金等の制度](#)
- [審議会・研究会等](#)
 - [審議会・研究会等開催予定一覧](#)
- [国会会議録](#)
- [予算および決算・税制の概要](#)

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html

2021/6/3

死亡として報告された事例について①（参考：資料1-3）

- 予防接種開始2021年2月17日から前回の審議会までに集計された5月2日までに、副反応疑い報告において、死亡として報告された事例は28件であった。
- 今回の審議会（5月16日時点、89日間）までに、死亡として報告された事例は55件であった。

No.	年齢	接種回数	性別	接種日	発生日	死亡までの期間	症状の概要等
29	26歳	1	男性	2021/4/28	2021/5/3	5日	心肺停止
30	93歳	1	女性	2021/4/22	2021/4/26	4日	急性心筋梗塞、急性心不全、呼吸不全
31	51歳	2	女性	2021/4/23	2021/5/7	14日	心不全増悪、心筋梗塞
32	82歳	1	男性	2021/4/26	2021/4/27	1日	虚血性心疾患
33	76歳	1	女性	2021/4/28	2021/5/7	9日	脳梗塞
34	97歳	1	女性	2021/4/29	2021/5/1	2日	不明
35	69歳	1	男性	2021/4/29	2021/5/7	8日	大動脈解離
36	63歳	1	女性	2021/4/30	2021/5/3	3日	くも膜下出血
37	70歳	1	男性	2021/4/30	2021/5/1	1日	心肺停止
38	95歳	1	女性	2021/4/30	2021/5/5	5日	狭心症の疑い
39	90歳	1	男性	2021/5/6	2021/5/6	0日	嘔吐による気道閉塞
40	53歳	2	女性	2021/4/14	2021/4/16	2日	自殺（縊死）
41	92歳	1	女性	2021/4/16	2021/5/3	16日	心不全の増悪
42	75歳	1	男性	2021/4/20	2021/5/2	11日	心疾患
43	41歳	1	女性	2021/4/20	2021/5/11	20日	脳幹梗塞
44	73歳	1	男性	2021/4/21	2021/4/27	6日	不明、心疾患疑い

死亡として報告された事例について②（参考：資料1-3）

○ 症状の概要に記載された死因等は、出血性脳卒中10件、心肺停止7件、心不全7件等※であった。

※同一症例に複数の死因等の記載がある場合は、いずれも計上。

（前頁より続き）

No.	年齢	接種回数	性別	接種日	発生日	死亡までの期間	症状の概要等
45	88歳	1	男性	2021/4/21	2021/5/1	9日	誤嚥性肺炎
46	25歳	1	男性	2021/4/23	2021/4/27	4日	精神異常、自殺
47	47歳	1	女性	2021/4/27	2021/5/2	5日	肺塞栓症
48	79歳	1	男性	2021/4/30	2021/5/5	5日	急性心筋梗塞、脳梗塞
49	81歳	1	男性	2021/5/8	2021/5/9	1日	喘息の増悪
50	77歳	1	男性	2021/5/9	2021/5/10	1日	心疾患疑い
51	88歳	1	男性	2021/5/10	2021/5/11	1日	誤嚥性肺炎
52	83歳	1	女性	2021/5/10	2021/5/11	1日	誤嚥、窒息
53	95歳	1	女性	2021/5/10	2021/5/12	1日	脳出血
54	95歳	1	女性	2021/5/11	2021/5/11	1日	不明
55	87歳	1	女性	2021/5/12	2021/5/12	0日	くも膜下出血

○ なお、5月17日から5月21日までに、医療機関又は製造販売業者から死亡として報告された事例は30件であった。

国内外の死亡例の最新の報告状況について

○ 今回の審議会（5月16日時点、89日間）までに、死亡として報告された事例は55件（100万人接種あたり12.6件、100万回接種あたり9.0件）であった。

国	集計期間	報告件数/推定接種回数	100万回または人接種あたりの報告件数	出典・備考
日本	2021年2月17日 ～2021年5月16日	55件/4,380,733人接種 55件/6,112,406回接種※ (1回目4,380,733接種、2回目1,731,673接種) (うち、高齢者等接種1回目913,245接種、2回目68,004接種)	12.6件/100万人接種 9.0件/100万回接種	※医療従事者等の接種回数（5/14時点）及び高齢者等の接種回数（5/16時点）を合算（首相官邸Webサイト（5/17時点掲載データ参照）） https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html
米国	2020年12月14日 ～2021年1月13日	113件/13,794,904回接種 ※2/3が長期ケア施設の住人	8.2件	First Month of COVID-19 Vaccine Safety Monitoring — United States, December 14, 2020-January 13, 2021(Morbidity and Mortality Weekly Report February 26, 2021 / Vol. 70 / No. 8) https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/wr/mm7008e3.htm?s_cid=mm7008e3_w
	2020年12月14日 ～2021年2月16日	510件/28,374,410人接種	18.0件 ※100万人接種あたりの報告件数	ワクチン諮問委員会（ACIP）における米国疾病予防管理局（CDC）会議資料 2021年3月1日 https://www.cdc.gov/vaccines/acip/meetings/downloads/slides-2021-02/28-03-01/05-covid-Shimabukuro.pdf
英国	2020年12月9日 ～2021年5月12日	374件/約2,160万回接種 (1回目約1,170万回、2回目約990万回接種)	17.3件	MHRA Coronavirus Vaccine - summary of Yellow Card reporting (MHRA 2021年5月20日) https://www.gov.uk/government/publications/coronavirus-covid-19-vaccine-adverse-reactions

日本のアナフィラキシーに係る医療機関からの報告状況について

医療機関からアナフィラキシーとして報告された件数

国	集計期間	報告件数 [*] /推定接種回数 (*副反応疑い報告のうちアナフィラキシーとして報告された件数)	100万回接種あたりの報告件数	備考
日本	2021年2月17日 ～4月4日	350件/ 1,096,698回接種 (1回目913,341接種、2回目183,357接種)	319件	(推定接種回数) 2月17日～4月4日 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_sesshujisseki.html
	2021年2月17日 ～4月18日	492件/ 1,930,111回接種 (1回目1,211,715接種、2回目718,396接種)	255件	※2月17日～5月16日 ※医療従事者等の接種回数(5/14時点)及び高齢者等の接種回数(5/16時点)を合算(首相官邸Webサイト(5/17時点掲載データ参照)) https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html
	2021年2月17日 ～4月25日	633件/ 2,718,090回接種 (1回目1,839,356接種、2回目878,734接種)	233件	
	2021年2月17日 ～5月2日	805件/ 3,823,386回接種 (1回目2,780,388接種、2回目1,042,998接種)	211件	
	2021年2月17日 ～5月16日	994件/ 6,112,406回接種※ (1回目4,380,733接種、2回目1,731,673接種)	163件	

夫の慟哭「69歳の妻は、着替える途中の姿のまま死んだ」

日本人ワクチン死85人

接種会場での医療体制も万全とは言えない



「自分は打たない」と決めた医師たちの意見

国内ではファイザー製に加え、モデルナ製ワクチンの接種も始まった

あんなに元気だったのに

「私は新型コロナウイルスを打つつもりはありません。毎年インフルエンザのワクチンは接種していますが、ワクチン自体に反対ということではない。しかし、今回の新型コロナウイルスワクチンは、まだどんな副反応（副作用のこと）があるかなど、わかっていないことが多い。現時点では接種は考えていません」
そう語るのは、南日本ヘルスリーサーチャボ代表で、ひらやまのクリニック院長の森田洋之氏。菅義偉総理が打ち出した「7月末までの高齢者のワクチン接種完了」という方針によって、なんとか東京五輪に間に合わせようとはかり、全国各地で加速度的にワクチン接種が進む。連日50万回程度の接種が行われており、今後のペースはさらにあがっていく。しかし、その陰で新聞

やテレビが報じない、ある事実が存在している。ワクチン接種が始まって3ヵ月強の5月21日までに、85名の日本人が接種後に亡くなっているのだ。「亡くなったのは25歳、102歳の男女です。年齢別の内訳は、20代が3名、30代1名、40代6名、50代4名、60代12名、70代15名、80代18名、90代以上が26名。年齢も若く、基礎疾患もまったくなかった人も多く含まれています」（全国紙記者）
政府はこれらの人たちの死とワクチンの直接的因果関係を認めていない（一部は調査中）。

「いまや誰もが我先にとワクチン接種を受けようとしている。しかし、その陰で『打たない』という決断をした医師たちがいる。知られざる彼らの本音、そして『ワクチン遺族』たちの証言を紹介する。」

師たちの中には、この日に日に増える死亡を目の当たりにして、少しずつ「自分は打たない」と決断する人たちが始めているのだ。
背景にあるのは、亡くなった人たちの遺族や知人の多くが、「死因はワクチン以外考えられない」と訴えていることだ。「妻が亡くなったとき、何が起きたか理解できませんでした。あんなに元気だった妻が突然亡くなるなんてありえない。現実をまったく受け入れられませんでした」
私も妻も長年働きづめでした。そろそろお互い仕事をやめて、ゆっくり旅行でも行こうなんて話していました。コロナ騒ぎが収まったら、一緒に

箱根にでも行こうと思っていたのです」
そう語るのは、長崎県に住む金田智子さん（仮名、享年69）の夫である。智子さんは3月17日にワクチンの接種を受け、その9日後の26日に死亡した。智子さんの遺族がメディアの取材に答えるのは、これが初めてのこと

基礎疾患なしで脳出血

そんななか、ワクチン接種とは無関係に、夫が体調を崩してしまっただけ、智子さんの勤務先とは別の病院に一時的に入院することになった。病院の感染対策により智子さんが見舞いに訪れることはできなかったが、毎日のように二人は電話で連絡を取り合っていたという。そうして接種から9日後、3月26日がやってきた。
「当日、妻が勤務先に出勤しないというこ

だ。夫が振り返る。「妻は調理師資格を持っており、県内の病院で調理師として働いていました。そのため、ワクチン接種を受けたいという選択はなかったのです。接種を受けたあと、妻は特に身体の変調などを訴えるようなことはありませんでした」

娘に連絡が入りました。妻は毎朝4時半に起き、家事などをこなしてから出勤していたので、遅刻や無断欠勤などといったことがなかったのです。朝9時頃、娘が私たちの家に到着すると、居間で妻が倒れていた。出勤するた

からあふれた血液の塊が脳細胞を圧迫することで死に至る。脳出血の最大のリスク要因は高血圧だが、智子さんは違ったという。夫が続ける。「妻が倒れたとき、なぜ自分がそばにいてやなかったのか。ずっと悔やみ続けています。最後に話したのは、妻が亡くなった日の前日の夜です。電話越しに妻はその日一日あったことを話し、私は自分の体調について話しました。いつもと変わらない。夫婦の間の他愛もない会話です。まさかそれが最後の会話になるなんて、想像すらしていませんでした」

妻は基礎疾患もなく、健康そのものでした。妻を亡くしてから、毎日のように「ワクチンを打ったから死んでしまったんだ」「いや、そんなことを考えても智子は戻ってこない」と繰り返し聞いています」
前述したとおり、政府

コロナワクチンの仕組みと その問題点について

新潟大学医学部(元)教授・名誉教授
岡田 正彦



<https://www.youtube.com/watch?v=WEM2xoyz900>

2021/6/3

72



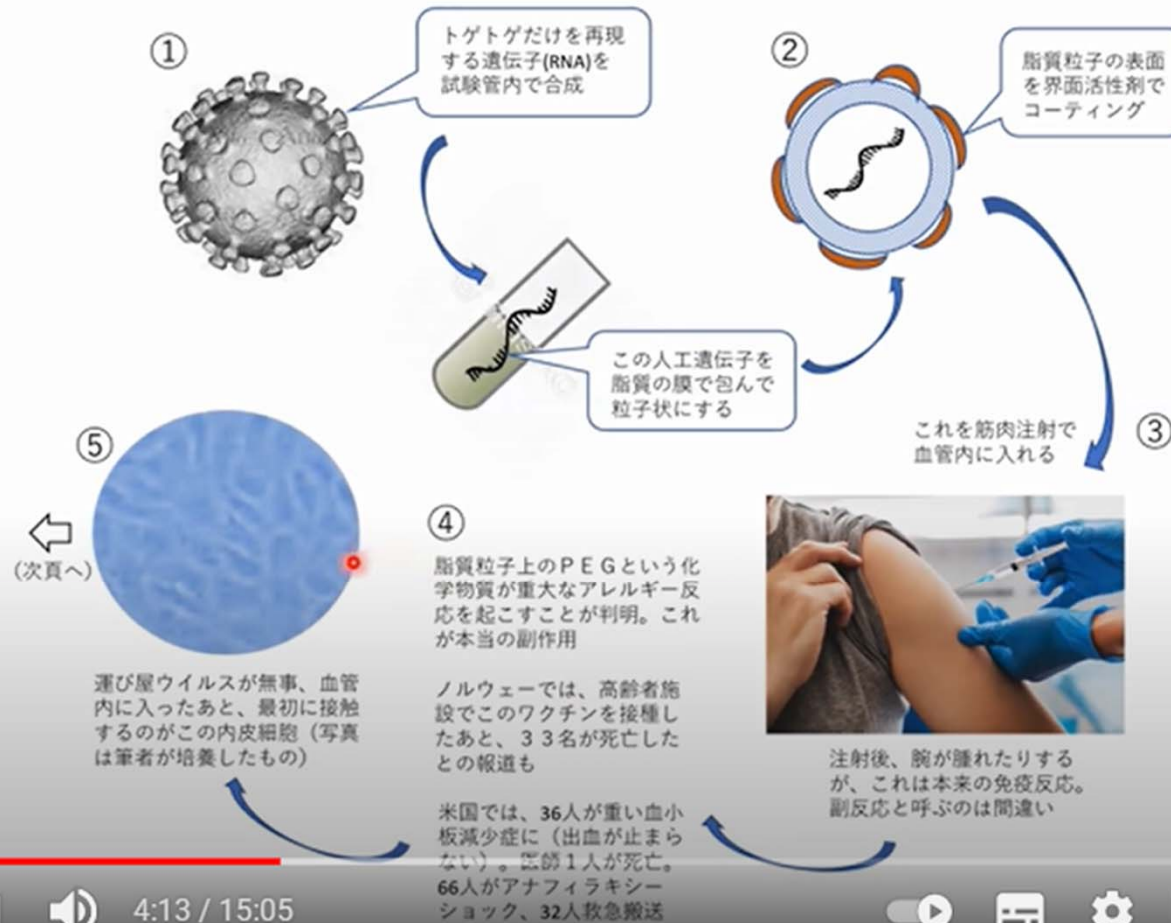
コロナワクチンの仕組みと その問題点について

新潟大学医学部(元)教授・名誉教授
岡田 正彦

研究テーマ・診療実績：

- ・リアルタイムPCR法によるmRNAの定量分析
- ・脂質粒子の解析（LDLコレステロール検査法を最初に発明）
- ・新型コロナのPCRと抗原検査を約400名に実施，対応に当たる
- ・各種ワクチンの効果と副作用に関する調査
- ・約2万人にインフルエンザワクチン接種を行い副作用を検証

ファイザー社とモデルナ社のワクチン



- 添加剤による重大なアレルギー(アナフィラキシーショック)の可能性

⑨
ファイザー社とモデルナ社の
ワクチンはメッセンジャー
(伝令役) RNAが主役

↓
本来、メッセンジャーRNAは
ヒト細胞内の酵素により数分
～10時間で分解されるもの

↓
しかしワクチンのRNAは分
解されないように改造され
ている。詳細は私のHP参照

↓
抗体は3ヵ月ほどで消える
ため。もし人工遺伝子が短
時間で分解されてしまうな
ら3ヵ月ごとに接種が必要

↓
もし人工遺伝子が半永久的
に残るのなら・・・

↓
不快な免疫反応がいつまで
も続き、「自己免疫性コロナ
病？」になってしまうの
ではないか(関節リウマチ
のような病気)

⑧
ウイルスと戦う
抗体ができる

免疫反応

⑥

人工コロナ遺伝子を包む
脂質粒子は、ヒトの細胞
膜にくっついて一体化

⑦

コロナウイルスの
トゲトゲ蛋白を再生

人工コロナ遺伝子
(RNA) だけが細胞
内に入る

たんぱく再生工場

核

治験を担当した有名病院
の理事長はモデルナ社重
役を兼任し、8億円相当
の株券を供与されていた

ファイザー社には過去、
数々の論文不正があり、
連邦裁判所より懲罰金の
支払いを命じられている

原理を発明した研究者
D WeissmanとK Karikóは、
自ら接種を受けている
写真を大公開。

両氏には莫大な特許料の
支払いが2つの会社から
約束されている

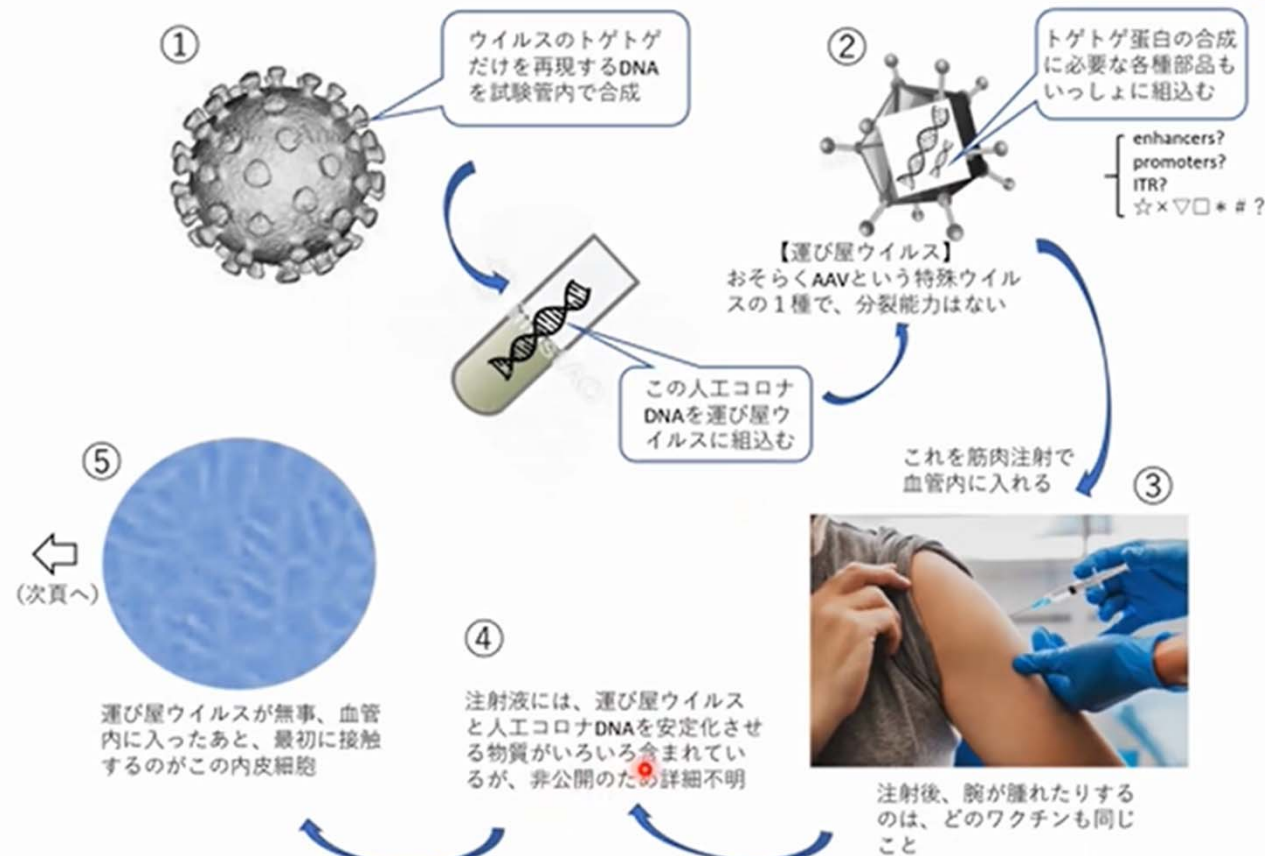
実際の写真は
Pennsylvania University
のホームページで見
てください

- メッセンジャーRNAが体内に残り続ける可能性
- ファイザー社は過去に数々の研究不正

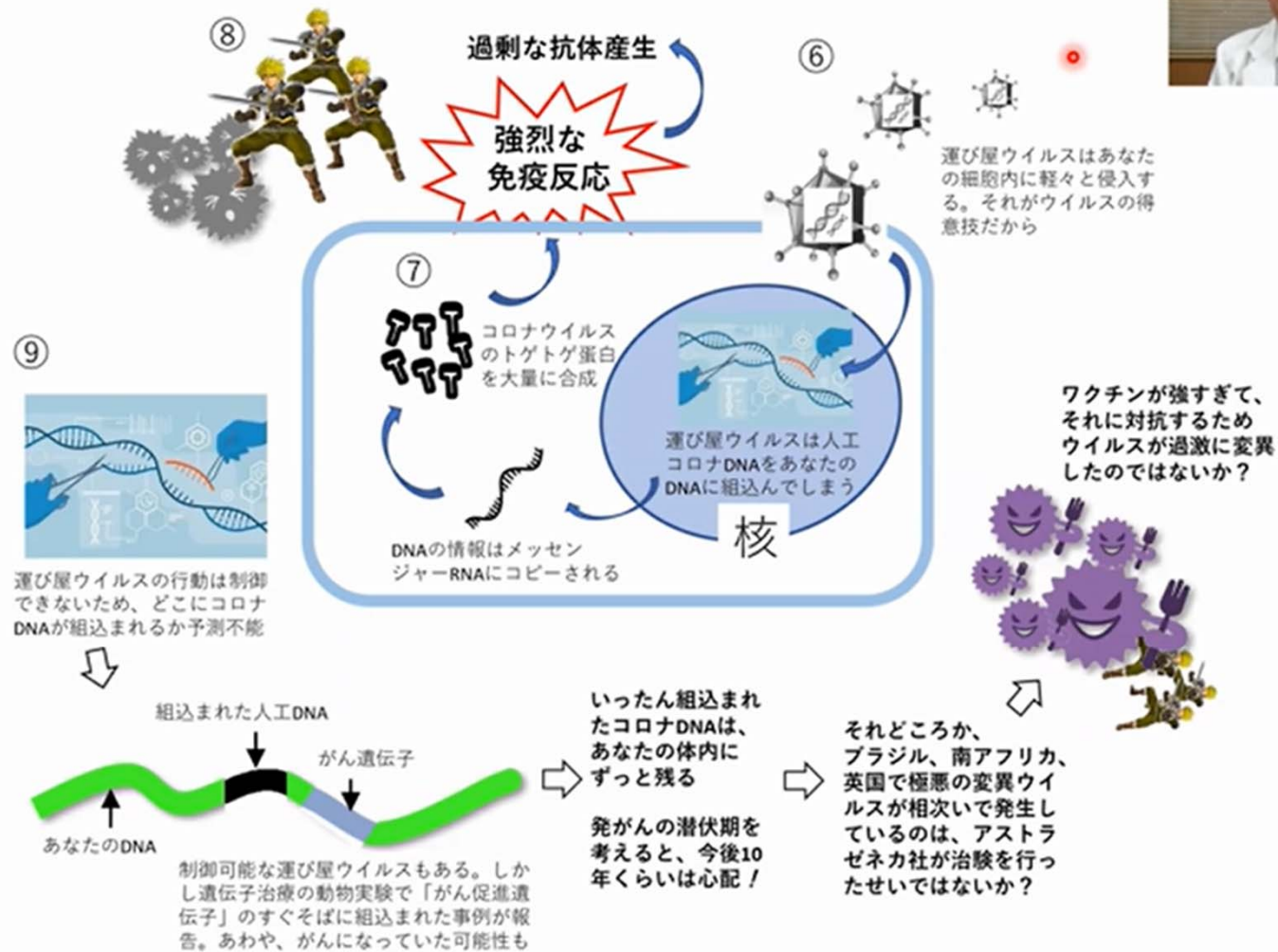


アストラゼネカ社のワクチン

「ワクチン」ではなく「コロナ遺伝子組み込み用人体実験薬」と呼ぶべきもの)



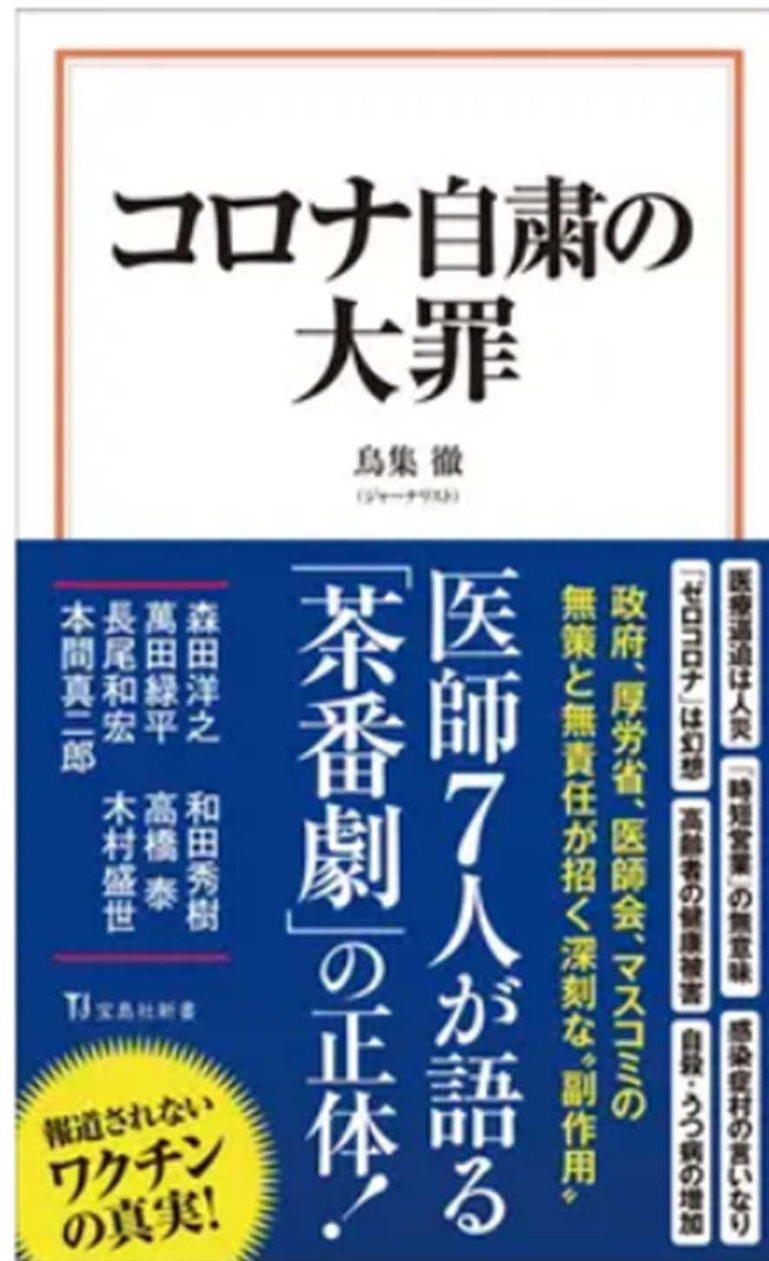
- コロナと同じDNAの一部があなたの細胞の遺伝子を組み替える



- ワクチンのDNAが人のがん遺伝子に組み込まれる？
- ワクチンがウイルスの変異を促す？

薬物乱用は 「ダメ。ゼッタイ。」





ジャーナリスト
鳥集 徹と
7人の医師の
対談集

宝島社新書



大阪市立大学
名誉教授(分子
病態学)

方丈社



スチャリット・バクディ・カーリーナ・ライス [著]
鄭基成 [訳] 大橋 眞 [監修・補足]



スチャリット・バクディ
(免疫学、ウイルス学、)、
カーリーナ・ライス
(感染症、細胞生物学)

日曜社

PCRは、
RNAウイルスの
検査に
使ってはならない

PCRの発明者であるキヤリー・マリスタ博士（ノーベル賞受賞者）も、
PCRを病原体検査に用いることの問題点を語っている。

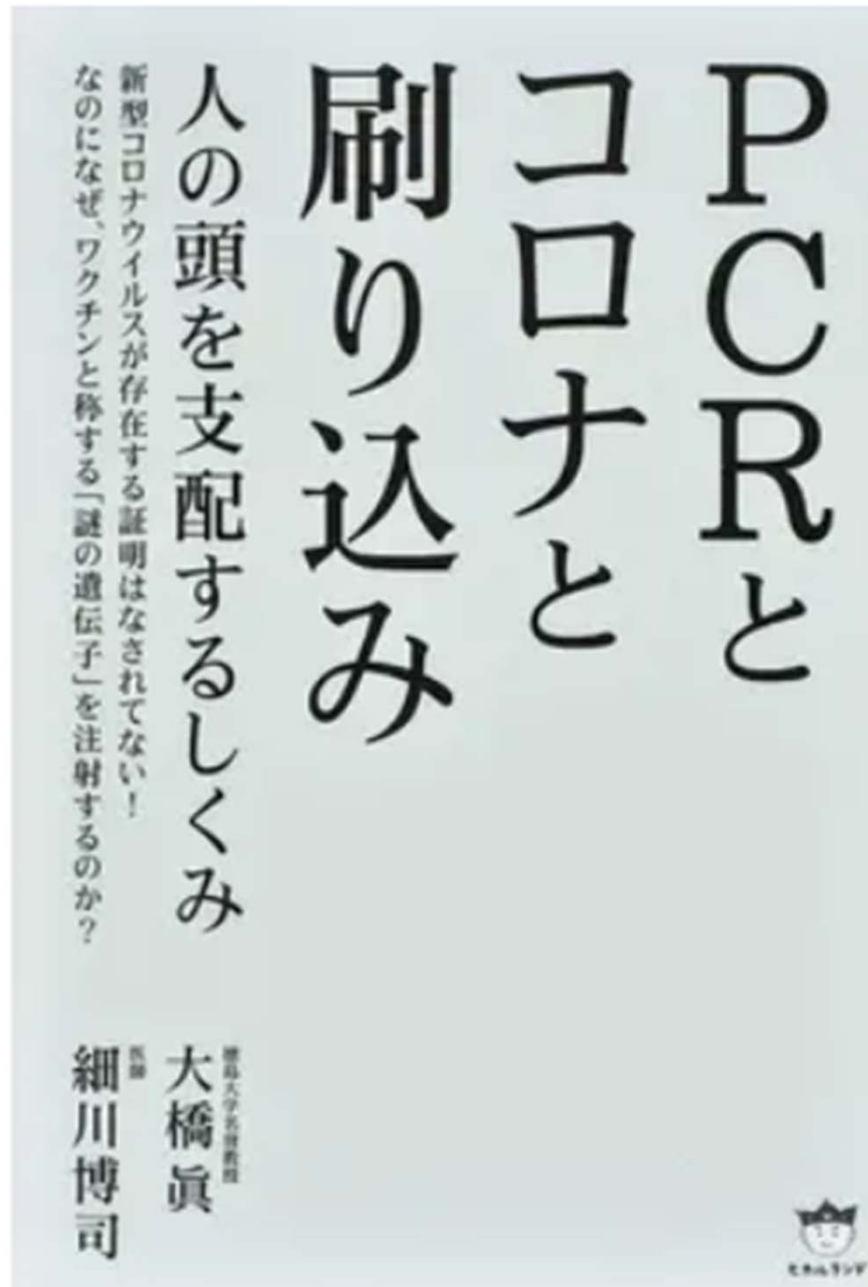
徳島大学名誉教授
大橋 眞



大橋 眞

（徳島大学名誉教授、
感染症、免疫学）

ヒカルランド



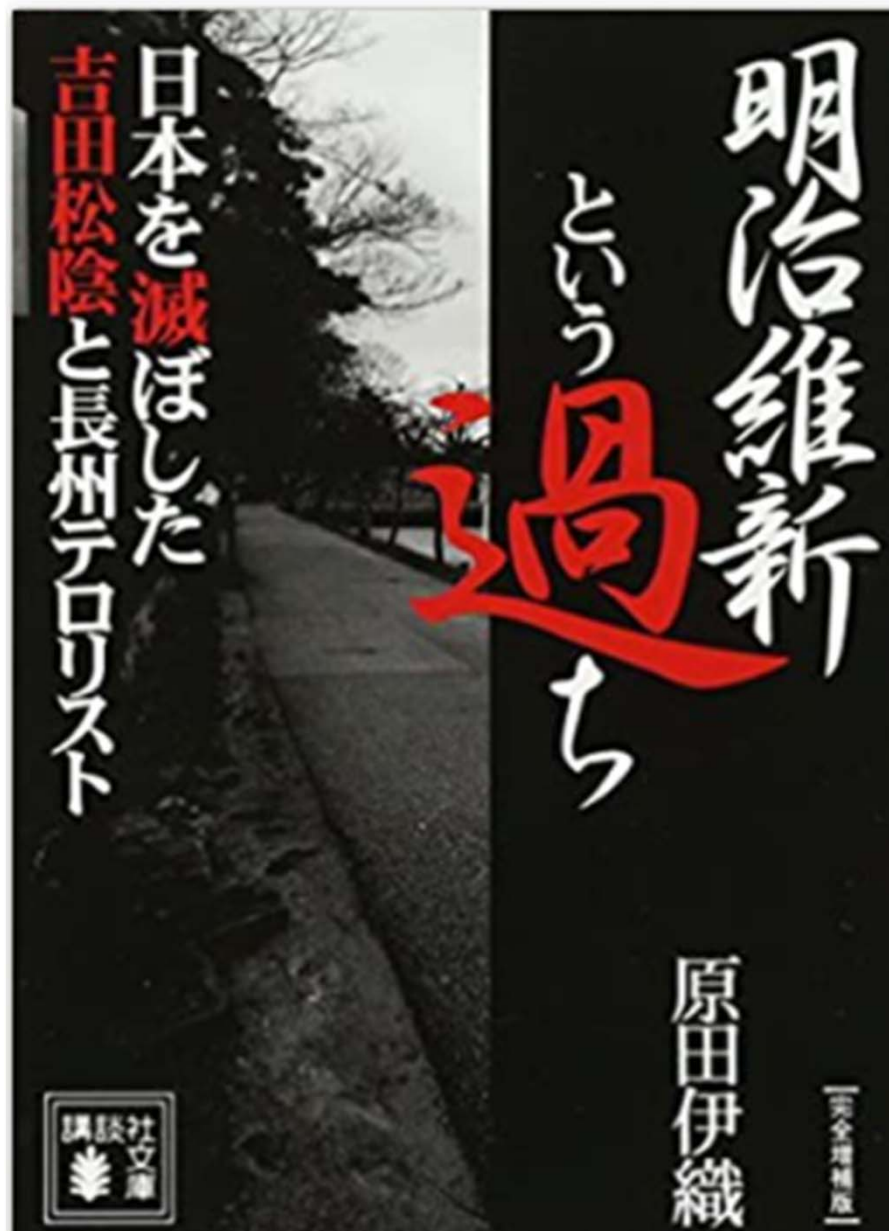
大橋眞

(徳島大学名誉教授、
感染症、免疫学)

細川博司

(一番街総合診療所
所長)

ヒカルランド



講談社文庫



Proletarius64 @proletarius64 · 5月26日

...

The rules aren't meant to make sense. They are meant to be obeyed. The more contradictory & illogical the regulations become, the more your compliance is valued. If you can force a person to abandon their judgment in favour of your own, you have total control over their reality.

